

英字新聞の読み方 基礎編その2

P a r t 1

これまで記事の第1パラグラフであるリード文を読んできました。リード文は約30語前後で書かれ、ほとんどがワンセンテンスの文章です。なかには40語以上あるセンテンスもあります。文章を出来るだけコンパクトにまとめるためにいろいろな工夫がしてあります。カンマや関係代名詞などで文をつなぐことや分詞構文を利用するなど多少複雑な文もあります。そうした文をどうすれば早く的確に内容を理解できるか、そのカンどころをいくつかの例文の中で見ていきましょう。

文章を区切ると幹が見えてくる

英文記事の内容をいち早く理解するためには、その文の肝心な部分、つまり幹となっている部分「誰が（何が）どうした」を見つけることです。そこで文章を幹と枝葉の部分にばらしてみると分かりやすくなります。

区切るところは、まず「名詞」、「動詞」などがありますが、ほかに「形容詞」「副詞」「形容詞句（節）」「副詞句（節）」「名詞句（節）」などです。それらは（in, on, to, with, as）などの前置詞で始まる文になっていることが多いのです。「区切る目安は前置詞の前がいい」という人がいるほどです。もちろん「カンマ」や「関係代名詞」も区切るべき絶好の地点です。句や節はそれだけで文の塊（語群）として現れて、主語や目的語、あるいは修飾語として機能しますから、こうした塊ごとに処理することで大分理解しやすくなるはずです。